

## キウイフルーツが主要市場の果実人気ランキング7位に上昇

ASIAFRUIT 2023年9月4日

ニュージーランドのキウイフルーツ販売事業者ゼスプリは、近年のキウイフルーツの人気の高まりを示す新しいデータを歓迎している。調査会社のカンター (Kantar) は、2018年から2022年までのニュージーランドのキウイフルーツ出荷シーズン中に、ゼスプリの15の主要市場における果実の中でのキウイフルーツの人気を追跡した。その間、キウイフルーツは平均ランク9位から7位に上昇した。

その結果は、キウイフルーツがアジア全体でいかに好まれているかを浮き彫りにしており、中国では2018年には5位であったが2021年と2022年にはナンバーワンの座を獲得した。また、日本でも2018年の5位から上昇し、過去3年連続で人気のある果実第3位に選ばれた。

キウイフルーツはまた、ベルギー、スペイン、ドイツ、イタリアで人気が高まり、オランダでも確固たる人気があり、ヨーロッパ全体でランクを上げた。ゼスプリの成長市場であるベトナムと米国でも、キウイフルーツは次第に好まれる果実になってきており、それぞれ20位から12位、16位から15位に上昇した。

ゼスプリの販売、革新、持続可能性部門の最高責任者であるジュン・シー氏は、世界中の消費者がキウイフルーツを選ぶことが増えるのは喜ばしいと言い、「生産者のために需要と価値を構築することを目的にブランドへの投資を行ってきた結果、主要市場でキウイフルーツの人気が高まっているのを目の当たりにするのは本当にやりがいがある。Covid-19のパンデミックの後、人々が消費する果実の量は回復しており、消費量は今後5年間増加を続けると予想される」と述べた。

同氏はさらに、「同時に、キウイフルーツは現在、世界の果実消費量の1%未満を占めるに過ぎない。これはゼスプリと生産者にとって大きなチャンスをもたらしており、市場全体で味の良いゼスプリキウイフルーツの利点を強調し、需要を喚起するインパクトのある販売キャンペーンを実施していきたい。キウイフルーツが世界中の果実消費の定番として台頭し続け、生産者とコミュニティに還元できる価値が最大化することを期待している」と語った。

執筆者: リアム・オキャラハン

## 南アフリカ産レモン・オレンジの早期終了で供給は逼迫か

FreshPlaza 2023年9月4日

今後の輸出向け作物の出荷規模がさらに明らかになり、南アフリカからの柑橘類の輸出は、今年は大幅に早く、地域によっては4~5週間も早く終了する。バレンシア種の予想輸出量はさらに100万箱削減され、当初の見積もりを600万箱下回る4,840万箱となった。

ある輸出業者は、樹上の果実のサイズ分布は当初予想されていたものとは異なり、全体的な収穫量は予想よりも少なかったとして、「ヘクタール当たりの収穫トン数が少なくなり、果実は大きい。これは、一部の地域を除いて国内の大部分に当てはまるが、特に収穫量が少ない東ケープ州によく当てはまる」と述べた。

南半球産の柑橘類から北半球産への切り替えの過程で、レモンとオレンジは不足する可能性がある。しかし、今シーズンの良好な降雨を考えると、来年はおそらく様子が異なるだろう。

消費の減速を踏まえると、出荷量の減少はむしろ良かったかもしれない。インフレ率と輸送コストの高さ等により南米産柑橘類の輸出が減少した結果として、ヨーロッパ市場での価格は高止まりしている。

東ケープ州の柑橘類の輸出シーズンは1か月早く終了する。豊富な冬の雨が酸度を急速に低下させた西ケープ州でも同様である。

執筆者: キャロライズ・ヤンセン